

再考 家庭が我が子の対応方法を学ぶサポートに対して 専門職者が果たす役割と課題

四国学院大学社会福祉学部 野崎 晃広 教授

11月9日(水) 9時30分～12時00分

かがわ総合リハビリテーション福祉センター 2階 研修室



昨年度は、『家庭が子どもの対応方法を学びとる支援のあり方を考えるから～ペアレント・プログラムの実践から見える課題～』として、新型コロナ感染予防の制限により、オンラインでの講習となりました。

今年度は、保護者が我が子への対応方法を学び身につけるために、子どもの育ちを支える専門職者が、どのような点を考慮して家庭をサポートするべきなのかについて、実践場面を意識して、グループでの演習を行うことで、専門職者の取り組みと問題点を考えていきたいと思えます。

定員：40名

参加費：無料

※必ず事前に申し込みをして下さい